

[第27回 日本癌病態治療研究会 開催概要]

- 当番世話人 永瀬 浩喜 (千葉県がんセンター研究所 所長)
- テーマ 「癌病態発見伝」
- 会 期 2018年5月31日(木)～6月1日(金)
- 会 場 ホテル ポートプラザちば
〒260-0026 千葉市中央区千葉港8-5
TEL: 043-247-2877
(アクセス)
JR京葉線/千葉都市モノレール「千葉みなと駅」前
- 参加費 12,000円(医師) 3,000円(研修医、医師以外) 無料(医学部学生)
- 事務局 千葉県がんセンター研究所
〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
TEL: 043-264-5431 FAX: 043-263-8175
E-mail: jsct27@chiba-cc.jp

会議日程

- 【編集委員会】 日 時: 5月30日(水) 15:30~16:00
会 場: ホテル ポートプラザちば 2F「パール」
- 【理事会】 日 時: 5月30日(水) 16:15~17:15
会 場: ホテル ポートプラザちば 2F「パール」
- 【世話人会】 日 時: 5月30日(水) 17:30~18:00
会 場: ホテル ポートプラザちば 2F「パール」
- 【総会】 日 時: 5月31日(木) 13:10~13:30
会 場: ホテル ポートプラザちば 2F「ロイヤルⅠ」
- 【臨時理事会】 日 時: 5月31日(木) 13:30~14:00
会 場: ホテル ポートプラザちば 3F「すいせん」

全員懇親会

- 日 時: 5月31日(木) 18:00~20:00
会 場: ホテル ポートプラザちば 2F「ロイヤルⅡ」

講演会場 (2F ロイヤルI)			ポスター会場 (2F ロイヤルII)		
8:50~9:00	開会の辞	9:00	8:30~10:00	ポスター貼付	
9:00~10:20	シンポジウム 1 「分子腫瘍学研究に基づくがん治療法の開発」 司会：柴田 昌彦、石田 秀行 特別発言：國崎 主税		10:00	10:00~14:40	
10:20~11:40	パネルディスカッション 「がん診断法の進歩 ～早期診断・再発診断・コンパニオン診断～」 司会：土岐 祐一郎、島田 光生 特別発言：西山 正彦		11:00	ポスター閲覧	
12:00~13:00	ランチョンセミナー 1 演者：大塚 将之 「胆膵癌における conversion surgery ～超進行胆膵癌の予後向上を目指して～」 司会：中村 雅史／共催：大鵬薬品工業株式会社		12:00		
13:10~13:30	総 会		13:00		
13:50~14:35	特別講演 講師：山田 泰広 「iPS 細胞技術によるがん細胞の理解と制御」 司会：金田 篤志		14:00	14:40~15:10	ポスター発表 P2, P4, P6
15:20~16:00	アフタヌーンセミナー 演者：馬場 秀夫 「大腸癌に対する最新の治療と研究の最前線」 司会：松原 久裕／共催：中外製薬株式会社		15:00	16:10~16:40	ポスター発表 P1, P3, P5
16:50~17:50	イブニングセミナー 演者：森 正樹 「マイクロ RNA の臨床応用を目指して」 司会：掛地 吉弘／共催：ヤクルト株式会社		16:00	17:00	18:00~20:00 会員懇親会・ 表彰式
			18:00	19:00	

講演会場 (2F ロイヤル I・II)	講演会場後方 (2F ロイヤル II)	
8:30~9:50	8:00	
シンポジウム 2 「がんゲノム医療の現状と未来」 司会：三森 功士、池田 徳彦 特別発言：竹之下 誠一	9:00	
9:50~10:50	10:00	
ワークショップ 1 「生命体ゲノム・エピゲノム構造普遍性への容喙 ^{ようかい} そして俯瞰」 司会：鍋谷 圭宏、調 憲	ポスター閲覧	
10:50~11:50		11:00
ワークショップ 2 「浸潤・転移の分子機構とその制御」 司会：傳田 忠道、大辻 英吾		
12:00~13:00	12:00	
ランチョンセミナー 2 演者 1 岡本 直幸 「血清中の微量元素によるがんリスク診断法の開発」 演者 2 佐藤 孝明 「未病社会に必要なプレジジョンメディスン」 司会：筆宝 義隆 共催：レナテック株式会社、株式会社 iLAC、株式会社島津製作所	13:00	
13:10~13:30	13:30~14:00	
閉会の辞	ポスター撤去	
13:30~14:00	14:00	
開 場		
14:00~17:00	15:00	
千葉がんシンポジウム Chiba Cancer Center International Symposium – Cancer Genetic Research towards Clinical Application – 演者 1 カリフォルニア大学サンフランシスコ校 ローズマリー・アカースト 教授 「がん免疫療法の改善に向けた TGFβシグナル因子の標的化」 Targeting components of the TGF beta signaling pathway to optimize check point blockade 演者 2 カリフォルニア大学サンフランシスコ校 アラン・バルメイン 教授 「発がんから転移に至るがん幹細胞の進展の役割」 The role of stem cells in tumor evolution from initiation to metastasis 演者 3 東京理科大学生命医学研究所 松島 綱治 教授 「新規複合がん免疫療法を目指した私たちの取り組み」 Our trials aiming to develop novel combination cancer immunotherapy 演者 4 千葉県がんセンター研究所 永瀬 浩喜 所長 「生命体ゲノム・エピゲノム構造普遍性への容喙 ^{ようかい} そして俯瞰」 Sequence specific external interference to the structure of living genome and epigenome 演者 5 アラバマ大学 ケシャブ・シン 教授 「がん発症メカニズムとしての核内ミトコンドリア発生」 Nuclear Mitochondrial Biogenesis as a Mechanism in Development of Cancer 司会：佐藤 孝明、永瀬 浩喜	16:00	